

## WORD演習

単位数	2単位	対象学年	2年	対象クラス	情報ビジネス
使用教科書	副教材等				

### 1. 学習の到達目標

- ・情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得する。
- ・情報の意義や役割を理解させ、適切に収集、処理し活用する能力を身につける。
- ・パソコンソフトの有効な利用を通じて、文書デザイン能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータ活用能力の向上を図ることを目的として日本情報処理検定協会が主催する文書デザイン検定試験を実施する。

### 2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・Wordを使用して、文字入力 of 練習をする。
- ・Wordを使用して、文字の加工、図形・画像・ワードアートの挿入などを学習する。
- ・日本情報処理検定協会主催の文書デザイン検定試験を実施する。

### 3. 学習上のメッセージ

現代社会では、パソコンを活用する能力は不可欠です。コンピュータの技術は頭の中で考えているだけでは上達しません。コンピュータ実習を通して操作・処理方法を習得しましょう。

### 4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	情報処理機器による業務の処理に興味を持ち、これを活用するための演習に積極的に取り組むとともに、日常の問題解決にこれを活用しようとしている。
思考・判断	文字・図形・画像等のレイアウトがバランスよく行える。
技能・表現	文字・データの入力やワークシートの編集などの操作ができる。
知識・理解	情報処理機器の特徴ならびに、ワークシートの構成や機能を理解している。

評価は具体的には次のものを対象とする。

- ①出席状況や授業における学習態度を評価する。
- ②課題の提出状況や仕上がり具合を評価する。
- ③実技試験を評価する。
- ④検定試験（意欲的に受験する）も評価に加える。
- ⑤広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況を評価する。

1年間の評定は、年間を通じて、総合的に判断して決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用副教材項目	指導内容と評価のポイント
ワープロの基礎 基本	日本語ワープロ検定試験 3級・2級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ字入力ができること。</li> <li>・タッチメソッドをができること。</li> <li>・時間を計り、指定した時間内に終わることができること。</li> </ul>
図形と画像の処理	文書デザイン検定試験 3級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の入力、加工ができること。</li> <li>・図形の挿入ができること。</li> <li>・画像の挿入ができること。</li> <li>・検定試験を意識し、30分以内で作品を完成させることができること。</li> </ul>
文書デザイン検定	文書デザイン検定試験 3級・2級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の入力、加工ができること。</li> <li>・図形の挿入ができること。</li> <li>・画像の挿入ができること。</li> <li>・検定試験の上位級を受験し、惜しくも不合格だった生徒については再チャレンジさせる。</li> </ul>

